



## BULLETIN

国際会長 “Be the Light of Hope”

アジア会長 “Be the Light of Hope”

東日本区理事 “Step Forward: For the Future, into the World”

2008.7.1 発行 第1号 通巻34号



### 主題「前へ、明日へ、世界へ」

“Step Forward: For the Future, into the World”

副題「心をひとつに希望を持って、チャレンジ2000！」

“One Heart with Hope, Challenge 2000!”

2008 - 2009 東日本区理事 清水弘一（仙台青葉城）

このたび、一年間のトレーニングを終えて第12代東日本区理事に就任いたしました清水弘一でございます。東日本区のメン、メネットのみなさんとともに、この歴史あるワイズメンズクラブの発展と新たな歴史を築くために、この一年間、理事の任を邁進してまいりますので、よろしくご支援、ご指導くださいますようお願い申し上げます。

ワイズメンズクラブ国際協会が北米に誕生して今年で86年、日本に最初のクラブ、大阪クラブが誕生して80年、ワイズの先達のたゆまざる努力があって今日の発展を築いてまいりました。そして1997年に日本区が東西に分割し、東日本区がスタートして、12年目に入りましたが、この間、私たちを取り巻く環境は、社会構造の急激な変化とともに格差社会の拡大を生み、私たち、ワイズメンズクラブやYMCAの運動に対しても、さまざまな試練を与えられました。

中には生活基盤を失い、ワイズを去った人、去らざるを得なかった人等、かけがえのない仲間も失いました。そして、会員の高齢化の進行とともに、会員数の減少が続き、1クラブ平均会員数22名でスタートした東日本区は、ここ11年間で約17名にまで減少しました。

時折しも、私たちは絶好の機会を二つ与えられました。一つは、2010年の横浜国際大会のスポンサーです。京都大会から数えて22年振りにホストを務めることになりましたが、世界中のワイズメンが日本のワイズメンに期待しています。日本のワイズ運動のすばらしさ、YMCAとの協働、CS事業、ユース事業やUGPへの取り組み等、私たちの誇りえる活動を世界に発信し、国際的ワイズダム発展に貢献したいと思っております。二つ目は、YMCAの公益法人制度改革に伴うワイズの貢献です。区定款第2条の目的とモットーの中に、ワイズメンズクラブとYMCAとの協働が明記されています。本年12月に施行される新公益法人制度法は、YMCAにとって大きなチャレンジであり、ワイズにあっても真摯な支援と協力が求められています。

以上のことから私は、今年度はすべての事業、「地域奉仕事業」「会員増強事業・PR」「国際交流事業」「ユース事業」「メネット事業」の結集がEMCの発展と捉え、東日本区の現在の会員数約1200名を3年後には2000名にするために挑戦し、次年度を、スタートの年と位置づけました。そして理事主題を「前へ、明日へ、世界へ」としました。「前へ」は、何事にも前向きな指向で希望をもって前進することは、すべての活動の基本姿勢です。“ダメかも知れない”の発想を転換し、“大丈夫かも知れない”の信念のもとに立ち、行動しましょう。「明日へ」は、過去の成果のもと中期計画を策定し、身近な目標から将来の目標に向かって行動しましょう。そしてその力をクラブ拡張(E)と会員増強(MC)へのあくなき挑戦、2000名につなげましょう。「世界」へは、ワイズメンズクラブ国際協会が国連の特殊協議資格を与えられた今、私たち一人ひとりが世界平和のために何ができるかを考えて、2010年の横浜国際大会につなぐ準備をしましょう。そし

てIBC・DBC事業を活発にし、大会の成功につなげましょう。

そのために、私は5つの重点目標を掲げて進みます。

1．今年度から始まる中期3か年計画の実行と目標達成のため、クラブ、部、区が一体となって行動してまいります。

2．そのために、前年度から着手しました「東日本区2000プロジェクト」の推進です。

ご承知の通り「区2000プロジェクト委員会」は、すでに前年度、越智理事の下にスタートいたしました。私は、この「2000プロジェクト」は東日本区全ワイズメンの将来に向けての大きな挑戦であり、成し遂げねばならない通過点であると思います。「なぜ2000か？」プロジェクト委員会は3つの目的を掲げてスタートしました。(1)クラブの若返りと強化をベースに、区の再生と更なる発展を計る。(2)2010年横浜国際大会を成功させる。(3)クラブと部、そして区の健全な財政基盤を確立することです。

この委員会は、区2000プロジェクト委員会と各部の2000プロジェクト委員会とが一体となって3か年計画で推進してまいります。皆さまのご理解と絶大なご支援を切にお願い申し上げます。東日本区を2000名にすることは、ワイズをより強め、私たちが目指す目標に向かって可能性をより高めることです。強くなるということは、「平和を生み出す力」を得ることです。2000名の達成に向けて一緒に進みましょう。

3．思いやりと発想の転換

現在15名未満のクラブが、全体の45%を超えています。平均年齢も確実に上昇しています。クラブの活性化と部の一層の強化が急務です。多くのクラブは、その目標達成に向けて懸命に努力されています。しかし、あなたのクラブは、時代の変化やニーズに十分に応えているでしょうか。常に、新しいクラブ運営や魅力あるクラブのプログラム作りに挑戦していますか？ 自分のために役に立っているクラブですか？ 部の更なる強化を図り、部の主体性を強く推進してまいります。15名未満で悩んでいるクラブを、部全体で支え、ともにクラブの再生と強化に向けて計画的に取り組んでください。15名以上のクラブは、更なる目標を設定して、新しい挑戦に向けて進んでまいりましょう。

ここで、メネット活動について一言申し上げます。今後、女性会員の増加は、ワイズの大きな力となるでしょう。そしてメネット、メネット会の存在は、他の奉仕クラブにはないすばらしい組織です。近年その活動が停滞気味と言われますが、その奉仕活動は誰もが認めるところです。メネット、メネット会の皆さん、皆さんでなくてはできないプログラムはたくさんあります。時代の流れを読みながらも、自信をもって、次のステップに向けて共に進みましょう。

4．YMCAとの確かな協働を進める

前にも述べましたが、YMCAは公益法人制度改革に伴って、公益性ということが、強く求められます。私たちは、YMCAとの相互理解を更に進め、あらゆる事業や運動を通じて、ともに相乗効果が生まれ、ともに発展できるよう進めてまいりましょう。

5．社会的な認知度を高める運動

新しいプログラムを常に念頭に入れ、積極的に地域にアピールし、地域からその実績が認められることは、私たちの最高の喜びです。UGP運動や環境問題への取り組みもその一つです。

2010年の横浜国際大会の開催は、私たちの運動をアピールする絶好の機会となるでしょう。今年度よりその準備のために、国際大会準備委員会と一体となって進めてまいります。

東日本区のワイズは、一つの家族です。副題を「心をひとつに希望をもって、チャレンジ2000！」としました。これからの一年間、私は、国際聖句「すべての人を一つにしてください」を心に刻み、皆さまとのワイズダムの「きずな」がより強くなる事を信じて前進してまいります。

## Theme: "Step Forward: For the Future and into the World"

### Sub-theme: "One Heart with Hope and Challenge 2000!"

RD Koichi Shimizu

The Japan Region divided into east and west in 1997, and Japan East Region entered in 12th. The social structure surrounded us changed rapidly. A decrease of the membership as well as progress of member's aging continued, and the number of Japan East Region that had started by the number of average members 22 of the one club, decreased up to about 17 people in these 11 years.

Just then, we were given two precious opportunities.

One is the host of 2010 Yokohama International Convention.

I would like to appeal wonderful Japanese Y's movement, cooperation with YMCA, and to contribute to the international Y'sdam development by hosting IC.

The other is a contribution of Y's Men's Club according to the reform of the public service corporation system of YMCA. The Y's Men's Clubs' sincere support and cooperation are requested from a big challenge the new public service corporation system method enforced in December this year for YMCA.

I challenged for the concentration of EMC gathering all business and placed the next year with a year of a start for us to set membership about 1200 to 2000 people in three years.

The theme is "Step Forward. For the Future and into the World."

In "Step Forward," having hope in an aim positive thinking and advancing are the basic stances of all the activities. "For the Future" settles on the Forward plan based on a past result, and acts from a familiar target toward the target in the future. And, let's link its power to a persistent challenge to club extension (E) and membership & conservation (MC) and 2000 membership. "Into the World", let's think what you can do for the global peace, and prepare for success of IC Yokohama with IBC/DBC activities.

I advance setting five emphasis targets for that.

1. To execute and achieve the target of Forward plan.

The Club, the District, and the Region act for accomplishment of a goal with the execution of the middle term plan that start at current year in union.

2. To promote "Japan East Regional 2000 project"

I believe this "2000 project" is a big challenge for the future of the Japan East Region whole Y's movement, and the milestone that we have to accomplish it.

A project committee puts up and has started 3 purposes.

(1) A reproduction and further development of the JER are measured based on rejuvenation and strengthening the club.

(2) The Yokohama International Convention is made to succeed in 2010.

(3) A healthy financial base in the club, the district, and the JER is established.

3. To convert a way of thinking and to consider each other.

Please support the club to be worried by less than 15 people, and work in premeditation both aiming at playing and strengthening the club.

4. To strengthen partnership with YMCA

5. To improve YMI status in local societies.

Japan East Region is one family. My sub-theme is "One Heart with Hope and Challenge 2000!" I believe that "Bonds in Y'sdam" with everybody becomes stronger and move forward.

" I pray that they may all be one." JOHN 17:21

## 東西 2000 名達成に向けて

西日本区理事 佐藤 典子



2008～2009 年度西日本区理事を仰せつかりました熊本ジェーンズクラブの佐藤典子と申します。越智東日本区直前理事に続いて、西日本区では最初の女性理事となりました。東日本区の皆さまにもいろいろとご指導をいただければ幸いです。

さて、私は理事主題を「思いやりを持ってワイズライフを！ - わかち合いは微笑みをもって - 」といたしました。例会等でメン・メネットと接する時、お互いの思いやり、少しの心遣いでその会合が楽しくなります。この思いやりのあるワイズライフが親睦を源としての活発な奉仕活動に通じるのではないのでしょうか。この主題

で西日本区がより元気に、ワイズがより魅力的になることを願っています。

東日本区では「東日本区 2000 プロジェクト委員会」をスタートされたとお聞きしております。私たちも危機感から「西日本区 2000 推進チーム」を3年前に組織いたしました。昨年度、減少から増加に転じたとは言え、目標達成にはもう少しの努力が必要なようです。互いの情報交換が、両区の発展の一助になれば、何よりですね。

西日本区ではメネット国内プロジェクトとして「発達障がいのある子どもたちに関わるリーダー研修会」を支援することといたしました。この研修会は、日本 Y M C A 同盟により来年春に熊本 YMCA 阿蘇キャンプで開催されます。全国の Y M C A からの参加があるとお聞きしておりますので、皆様のクラブで参加されるリーダーを励ましていただければ幸いです。

2010 年、横浜で開催されます第 69 回国際大会の成功に向けて私たち西日本区も、惜しみない協力をしたいと思います。国際大会の開催準備をステップに、お互い 2000 名にチャレンジいたしましょう。

清水理事のリーダーシップのもと、東日本区の活動が素晴らしいものとなるようにお祈り申し上げます。十勝で、笑顔でお会いできるのを楽しみに西日本区理事を努めてまいります。

## ワイズの味

日本 YMCA 同盟 総主事 山田 公平



私の属しているワイズメンズクラブには、長くかかわっているメンバーと最近入ったメンバーが半々といったところです。その古株の一人がもう 70 歳になりますが、なんと JICA のシニアボランティアとしてパプア・ニューギニアへ 2 年間単身で行くことになりました。彼の壮行会のとき、「70 歳になって遠い未開の地（？）に行こうというその気力とかやる気はどこから湧いてくるのですか」と尋ねてみました。すぐに返ってきた答えは、「だってワイズだから、ワイズをしているの。今やっていることも、これからやることもワイズの普通」とさっと返事が返ってきました。最近入ったワイズメンは、「ワイズというところ、一見何のグループだか分からない異様な集団。しかし徐々に様々な生き方を実践している人たちの集まりであることに気づきました」と言っていました。

ワイズの一員であり、YMCA のスタッフである私にとり、一人のワイズメンが言う「だってワイズだからそうするの」という一言は意味ある言葉でした。YMCA にいて、ワイズにいて良かったと思ったときでもありました。「ワイズダム」とは、「なんでも良いからできることを喜んでしようよ」ということなのかなと感じました。無駄なことかもしれない、でもそこに出会いがあり、人生の味があると信じて進もうよと言うのがワイズダム、ワイズの意義かなと思います。このような精神をもって互いに刺激しあひながら、またこの一年も進みたいと思います。

ワイズメンズクラブの皆様、今年もよろしくお祈りします

## Message

Dear RD Koichi,

I am extremely happy to send you this message to convey my deep appreciation and gratitude to you and Y's men in your Region for their contributions by upholding the ever vibrant motto "To Acknowledge the Duty that Accompanies every Right" through their love to the mankind.

We all enjoyed the happiness of doing service which inspires us for more service. On a sustained basis we can achieve this only by strengthening our movement. In other words developing more resources through more hands, brains and money by enrolling more members.

Identifying this, I have thrown you the challenge to achieve 35,000 membership by June 2009.

For this, I have two powerful tools to equip you.

My theme – "Be the Light of Hope"

This has an in-depth meaning in your life and more so in your service activities. As it exhorts, if you are confident of the positive thinking in you, the results will be positive.

My slogan – 'Share with a Smile'

This is a very pointed sword and if you want to test its sharpness tries with any body next to you.

I hope that my challenge will be the main theme for debate and positive actions in your Region. I am eager to get the feedback from you. I am confident that your Region will come out with all time records in increased membership which will be a landmark in the history of your Region.

I wish all Y's men in your Region success, good health and God's blessings.

Sincerely Yours in Y's dom,

V.S. Bashir, International President



### ご挨拶

敬愛する清水弘一理事

常に生き生きと「強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う」のモットーを堅持して、人類に対する愛の業を持ってなされた東日本区の皆さんの多大な貢献に対し、感謝の意をこのご挨拶で述べることは、大きな喜びです。

私たちは、より多くの奉仕へと私たちが奮い立たせる奉仕の業を、実践する喜びを共有することが出来ました。ワイズ運動をより強化することによってのみ、これを継続することができます。言い換えるならば、より多くの会員を入会させることによって、より多くの働き手、知恵そして財力をもって様々なリソースを開発することです。

このことに特化して、私は2009年6月に会員数3万5千名の達成に挑戦することを、みなさんに投げかけました。

このために、私は二つの強力なツールを、あなた方に準備しました。

私の主題「希望の灯となろう」これは、あなたの人生において深い意味を持つと共に、奉仕活動においてより一層意義深いことです。あなたが前向きな考え方に確信を持つならば、前向きな結果が生ずる事を、勧告しています。

私のスローガン「わかち合いは微笑みをもって」これは核心を貫く剣です。切れ味を試したい方は、隣人に試みてください。

東日本区においても私の挑戦が討論の中心課題となり、前向きな活動が展開されることを期待しております。あなた方のフィードバックを切望しています。東日本区史の金字塔となる会員増強が達成されることを確信しています。

東日本区の皆様のご健勝と皆様の上に神様の祝福がありますよう、お祈りいたします。

国際会長 バシール

*Message from Asia Area President 2008/09 Rita Hettiarachchi*

*IP's Theme – “Be the light of Hope”*

*My Slogan – “Working together to serve better”*

Dear RD Koichi,

I feel privileged to send you my warmest congratulatory message to your first regional bulletin as you walk into another wonderful year in our great movement. As you take a step further to continue the good work your region has been doing during the past years, you can be proud of the great contributions that Japan has always made to the movement in many ways.



Be glad that we belong to the largest service area within Y's men International and your contribution as a part of the local extension of this worldwide organization will be highly appreciated.

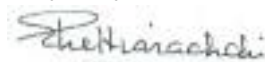
In this continuous journey of ours, having “served without borders” “joining under the Y'smen's flag”, may you now be spirited to rise up to another successful Y's year with confidence by “**working together, to serve better**” to “**be the light of Hope**”!

Keeping in mind our motto- “To acknowledge the duty that accompanies every right”,

I am confident that you as a vibrant RD, with your wonderful team, you will achieve much more! I shall be constantly in touch with you!

I wish you and your Region God's blessings!

May all your Y's dreams come true!



**Rita Hettiarachchi**

**Area president 2008/2009**

2008-2009 アジア地域会長リタからのご挨拶

国際会長主題「希望の灯となろう」

地域会長スローガン「より良き奉仕のために共に働こう」

敬愛する清水弘一理事

私たちのワイズ運動の輝かしい新年度の始まりにあたり、東日本区報1号に心からのご挨拶を寄稿できることは、大変名誉なことと存じます。

東日本区が、過去に行われたきた素晴らしい活動を、今後とも継続して推し進められることと思います。ワイズ運動の多くの側面で、日本が絶えず多大な貢献をなさってきたことは、賞賛に値するものです。

私たちが国際協会のなかで最も多大な貢献をする地域に属していること、東日本区の貢献が世界規模の組織の中で地域拡大の一翼を担うものとして大変感謝されるであろうことを、喜び合いたいと存じます。

「ワイズメンの旗のもとに」「国境なき奉仕」を掲げて継続してきた運動に加えて、さらなる飛躍をとげるワイズ新年度を「より良き奉仕のために共に働こう」の活動を持って、「希望の灯となろう」となるように、奮い立って元気良くスタートしてください。

私たちのモットー「強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う」をいつも心に留めてください。

あなたが活力あふれる区理事として、素晴らしいチームと共に、より高い目標を達成されることを確信しております。私も常にあなたと共にあって、ご協力いたします。

神様の祝福が、あなたと東日本区のうえに豊にありますように!

あなたのワイズの夢が、すべて実現できますように!

2008-2009 アジア地域会長 リタ

## リーダーシップの発揮に期待

東日本区直前理事 越智京子  
(東京たんぼぼYサービスクラブ)



清水弘一理事のリーダーシップの基に、東日本区となって12年目がスタートしました。

2007年度は方針の一つとして、次世代を担う青少年育成をサポートし、若者と共にワイズダムの数年後に繋がるワイズ活動にしていきたいという願いで、特にユース事業に力点を置いてきました。その表れとして東日本区で2番目の“ワイズ・ユースクラブ東京-Y3”が誕生し、東日本区大会でお披露目をする事ができました。“STOP HIV/AIDS”の取り組みも推進する事ができました。

清水理事におきましても継続する事業と共に、更なる新事業であるチャレンジ2000!の展開推進に努められます事を期待しています。清水理事のテーマの下に今までの経験を活かして、お手伝いをさせて頂ければと思います。

## 学びと出会いの一年に

次期理事

原 俊彦(東京サンライズクラブ)



昨年6月、代議員会に於いて次々期理事としての指名を受けてから、あっという間に一年が過ぎ、いよいよこの7月より清水理事の下で大きな役割を担う事となりました。

特に、今年度は「2000プロジェクト」そして「2010年横浜国際大会」とこれまで経験したことのない巨大プロジェクトへの大事なスタートの年に当たります。

「前へ、明日へ、世界へ」・・・常に前向きに希望を持って進むという清水理事の強い志を共有し、連携を密にしながら精一杯の努力をさせて頂く所存です。

同時に、本番に向けてのこの一年は、「多くの出会いを大切にしながらワイズライフを十分楽しみたい。」と願っています。

## 画期的な1年に

監事

藤井寛敏(東京江東クラブ)



監事として2年目を迎えます。

財政も皆さんの懸命な努力により黒字化のめどが立ったようです。トロイカ体制も確立し、昨年も皆さんで支え合う素晴らしい

チームワークを見せて頂きました。2010年国際大会横浜を控えて野心的な2000プロジェクトもスタートしました。これこそ区内の全メンバーが1つにまとまる絶好の機会です。心を1つにして清水理事の「前へ、明日へ、世界へ」の主題のもと東日本区にとって画期的な1年になることを期待しております。私も熱く参加し、そしてクールに見守りたいと思います。

## 東日本区監事をお引き受けして

監事

浅見隆夫(東京グリーンクラブ)



東日本区次期理事、理事、直前理事としての三年任期を終え、一年間の充電期間を持って、この度東日本区監事に推挙され、気持ちも新たにお引き受けしました。

任期は二年ですが、立場を変えて東日本区の行政一般、財政等を冷静に見つめ、適切な助言・督励を行い、東日本区の運営遂行が円滑に進むことに務める所存です。

清水理事は熱い願いを込めて、ワイズの活性化のため会員増強を目指す「2000プロジェクト」の活動を開始しました。また、2010年開催の横浜国際大会の諸準備が活発に展開される重要な時でもあります。

東日本区の益々の発展を願い、会員諸兄の疑問、ご意見等をも真摯に受け止め、微力ながら清水理事をお支え出来れば幸いです。皆様のご協力を宜しくお願いします。

## 「愛する地球の下、 自分で出来る地域奉仕を考えよう」

地域奉仕事業主任

山田敏明（十勝クラブ）



ワイズ活動の原点である、地域奉仕事業主任を拝命して、大変光栄です。たくさんのワイズの皆さんから、気軽にどんどん意見をいただいて、事業を推進してまいりますので、どうぞよろしくお願

いします。

今年7月、私たち2008～2009年度のワイズメンズが始動すると同時に、北海道洞爺湖サミットが開催されます。サミットのテーマは、「気候変動問題」で、地球温暖化にいかに取り組むかということです。

地域奉仕事業のテリトリーは、YMCA サービス、CS、ASF ですが、是非今まで各クラブで取り組んできた地域奉仕事業に加えて、環境問題にも着目したいと思います。身近に出来るところから、地球に優しい活動に関わっていきましょう。地球温暖化は、全人類の共通の深刻な問題になっています。

今年度は、準備段階からの啓蒙活動と生活スタイルの変革を行い、ワイズメンズが共に考え、行動を起こさなければなりません。YMCA とのパートナーシップで、日々実践できる温暖化防止の生活スタイルを実践してゆくことが、大きな効果を地球に与えることが出来るとの思いを持ちましょう。これが、地域に対してのワイズメンズクラブのアピールになると同時に、「東日本区 2,000名達成のための行動計画の推進」に寄与します。

また、重要事業として、YMCA サービスとして、YMCA とワイズメンズクラブの相互理解を深め、情報を共有する。（特に、YMCA 主事との連携を密接にしましょう）CSとして、1クラブ1事業の推進。（地域へのアピール、他クラブへの参加・協力、他クラブとの協働）そして、新しいCSプログラムの開発を計ろう。ASFとして、YMCA スタッフを育てるための支援。特に地方YMCAのスタッフの育成支援プログラムを、東西日本区で協同して検討する。（YMCA 同盟ステップ研修）などを検討中です。また、東日本区2000プロジェクト推進の為、個別YMCAと連携を計り、行動し、会員増強に邁進しましょう。一年間、よろしくお願

## 2000に向けて

会員増強事業主査

久保田康正（伊東クラブ）

今年度、清水理事の目標「300



名増員、7クラブの新設」に向け皆様の協力を受け、新たな気持ちで会員増強活動に取り組ん

でいきたいと思っております。なぜ会員増強が必要なのか1人1人が良く理解していると思います。10年前と比較しますと、約150名の減員があり、クラブ数は9クラブ増加しています。クラブが増加し、会員が減少している原因はなんなのか、いろいろな要因があると思います。これらのことを皆様と考え、悪い所は直し、良いところは伸ばしていきたいと思っております。3年後2000名を達成するには、今年度、15名未満のクラブは早期に15名達成に向け目標を設定していただきたいと思っております。15名以上のクラブにつきましても4名～5名の増員で、目標設定をお願いしたいと思います。

なぜドロップするのが問われ、楽しいクラブ運営はもとより、欠席の多い会員との対話を増やし、入会前のトレーニングの完全実施をお願いしたいと思います。

また広報活動はワイズの知名度を上げるには有効な手段だと思っております。ワイズはなにを活動しているか知らない人が多くいます。知名度を上げる事により、会員増強に結びつくのではないのでしょうか。地域広報の有効活用をお願いいたします。皆様のご理解、ご協力をいただき、職責を果たしていきたいと思っております。よろしくお願



## 「中ダルミを排し 前進あるのみ!」

国際・交流事業主任

辻 剛 (横浜つづきクラブ)

清水理事の方針を踏まえて、今年度の重点目標を「UGP 活動の底辺拡大と IBC/DBC 活動の活性化」とさせていただきました。ご存知のように国際協会では、2005 年から 5 年間は



「STOP!HIV/AIDS」をテーマとして全世界中のワイズの力を結集することにより地域社会や世界にワイズメンの認知度アップを図っています。今年はこの運動の 4 年目にあたります。最近は全世界の患者・感染者の数が頭打ち傾向にあるとか、感染者が世界の一部の地域に集中していることなどから、これまで皆様のご努力とご協力により盛り上がってきた活動も中ダルミに陥る危険があります。しかし、日本における HIV 感染者の増加は続いております。この若い人たちの感染の増加は何としても食い止めなければなりません。その為には各クラブレベルで各地域社会に対して活動を推進する必要があります。とくにユースの皆さんのご協力を得ながら若い人たちにアピールしていきたいと考えております。このような活動を支援するための UGP 献金にも是非ご協力をお願いいたします。

もう一つは IBC/DBC への積極的な取り組みであります。もとより IBC の目的は世界のワイズメンと積極的かつ継続的に交流し、ワイズダムの発展に協力しあうことですが、2010 年の横浜国際大会を成功させる為にもその活性化は喫緊の課題であります。従って、既に締結済みのクラブは益々交流を活発化していただき、未締結のクラブには新たな縁組を目指していただきたいと思います。そのために事業主任としてお手伝いをするつもりです。

以上が重点目標ですが、毎年お願いしている以下の基金についても目標達成のため全クラブの皆様のご協力をお願いいたします。

1. B F 基金：一人あたり 2 0 0 0 円以上 (現金 + 使用済み切手)
2. T O F：一人あたり 1 3 0 0 円以上
3. E F：区全体で 4 0 0 0 ドル

以上、お願いばかりで恐縮ですが経験不足な未熟者でありますので、皆様のご理解とご協力、そして積極的な活動をお願いいたします。

## ユースをもっと身近に!

ユース事業主任

篠田秀樹 (東京江東)

学生時代にリーダーとして活動しましたが、社会人になって 25 年目を迎え、若者の気持ちがかなりわかりづらくなってしまった感じが強い中、ユースの担当になりました。子供がまだ江東



Y M C A 幼稚園に通っているの、江東 Y M C A に集うリーダーとの接点が、他のワイズに比べ多くあります。こういった利点を今年度のユース事業に生かせれば!と思っています。

前期の越智理事がユースの重要性を重ねて説いておいででしたが、なかなかユースの重要性を認識して頂くのは難しいと承知しています。ユース自体がわかりづらいのです。今期はこの難しい点をいかにわかりやすく、そして親近感がわくように皆さんに伝えていくかがポイントと考えています。今期 1 年では花は咲かないかも知れませんが、何年後かのためにしっかり今までの先輩がまいて下さった種を育てていきたいと思えます。ユースのわかりづらい点は以下の点ではないでしょうか。ユースと呼ぶ対象は? その活動内容は? ワイズとの関係は? どう接したらいいの? 等々。若者 (リーダー等) と関わりの少ないクラブやメンにはちょっと躊躇する部分があるかも知れませんが、でもユース事業の困った点は、それでもなんとかかなってしまうことです。関わりが別になくても何とかなってしまうのです。

だからこそ今期はこの点を皆で考えて行きたいと思えます。ユースボランティア・リーダーズフォーラム (Y V L F) はワイズならどなたでも参加可能です。海外に行くユース・コンボケーションに付き合うのは大変でも、Y V L F なら気軽に参加できます。まずは身近なユースの活動を見て、ユースに接することから始めてみて下さい。きっと若い力や考えに良い刺激を受けるはずで、1 年間どうぞ宜しく御付き合い下さい。

## 夢は逃げない 逃げるのは自分だ

北海道部長

中田千鶴（札幌クラブ）

北海道部は、清水理事の「プロジェクト 2000」に因って北海道部をかつての 100 名に戻したいと夢見ています。



さて前期は札幌で「HIV/エイズ・フォーラム」を開きます。北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞、YMCA、YWCA などの後援もいただきました。医学、看護、NPO など各界の権威の方々をコーディネーター、パネリストにお願いしました。退屈な講義に終わることなく、後半にはコースにも舞台上がって頂き、若々しい感性で語り、学び、考え、本当に実りあるフォーラムにしたいと思っています。

後期はフォーラムに集まった若い方々に声を掛け、2000 プロジェクト・チームと協力して若者を中心にしたワイズメンズクラブを立ち上げたいと思います。クラブ作りは 1 年では出来ないかもしれませんが、しっかりとした地ならしが出来れば夢ではないと思います。しかし無理してはいけません。私は土台を作り、トロイカを最大限に活用し、高杉次期部長に夢を引継いで頂きたいと思っています。

クラブ訪問： 年度内に少なくとも年 2 回、各クラブを訪問し、アイデアを交換し、学び合い、励まし合いたいと思います。

各クラブ間の相互訪問促進： 各クラブが年に 1 回は他のクラブにメンバーを派遣し、卓話を行い、親睦を深め、そのクラブに学び、ホームクラブに報告するという慣行を始めます。

部独自のファンド事業： 地域に奉仕するためには先立つものが必要です。部独自のファンドを創出する工夫をしてみたいと思います。ワイズ・コンサートや文化講演会などを提案し、実現を目指します。

Extension! 2000 プロジェクトの実現のためには、クラブの MC だけではなく、新クラブの設立が必要です。今計画しているユースクラブだけではなく、小樽クラブの復活、函館、旭川の新クラブの設立など、様々の可能性を考えたいと思います。

2009 年 6 月は帯広へ! 東日本区大会は帯広です。十勝クラブを支え、しっかり準備して北海道の大平原に皆さんをお迎え致します。

## "08-09 北東部部長担当にあたり、"

北東部部長

横倉 純（仙台クラブ）



主題「健康土台に 生き生きワイズ」は、パットしないのですが、昨年より「健康でいる、」ということがとても意義のあることと感じるようになり、何とかその思

いを籠めたく表現をめぐらせましたが、結局「健康、」の言葉そのものになってしまいました。副題の - みんなでやろう、部の再生を - は、北東部としての大きな課題であり、岡田直前部長からの継続としました。北東部 10 クラブのうち、15 名未満が 7 クラブ、そのうち 6 クラブが 10 名未満というのが現況であります。「北東部 2000 プロジェクト委員会」も立ち上げることが決定され、会員増強に向け取り組みますが、幾つもの山を越える必要があります。直前部長、次期部長が同じクラブという事情や、距離の壁もあり、2000 プロジェクトと併せ、北東部再編の課題にも取組まねばなりません。再編については、これまでに評議会などで出された意見を再度整理し、方向を定めたく思います。また、前年度に「会員増強に向けて」の各クラブから出された提案についても、分析し、掘り下げ、検討したく思います。部内各クラブへの、部長公式訪問については、形式だけに終わらぬよう、それぞれのクラブに、部長としての立場から何ができるのか？を考えております。距離の問題で、訪問するだけでも大変ではあるのですが、日程等もこれから調整させていただき、意義あるようにと、模索しております。まさか自分が部長の任に就くなどとは、正直、晴天の霹靂と言いますか、思いもしておらぬことでした。いつも皆さんにお願いをする役割できておりましたから、自分のことではないような・・・でも、逃げ出す訳にもいきませんで、恥じかきを覚悟で務めさせていただきます。大変、大変ばかりでは辛いので、気持ちだけは楽天で行こうと思います。どうぞ皆さんよろしくお願いいいたします。

## 就任の挨拶

関東東部部長

佐野 守 (東京グリーンクラブ)



08～09の部長職を務めることに大変興奮と緊張をしています。クラブの皆様はじめ、関東東部の皆様のご協力をいただいで1年間私なりに努力してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

上げます。

2010年の横浜国際大会を成功させるためにも会員2000名の達成をめざし、関東東部も一つになってチャレンジしていきます。

私はボランティア活動をするときは「あほになれ」と言う言葉を胸に活動しています。

あ——愛情を持って

ほ——奉仕の心で

に——忍耐強く

な——仲間意識を持って

れ——礼儀正しく

これからいろいろと私の力不足を周りの人たちに支えていただきながら職務をまっとうしていきます。

### 関東東部役員名 (敬称略)

部 長	佐野守	東京グリーンクラブ
直前部長	青木清子	千葉クラブ
次期部長	染谷宗治	柏クラブ
書 記	布上征一郎	東京グリーンクラブ
会 計	柿沼敬喜	東京グリーンクラブ
地域奉仕事業主査	松島良樹	東京北クラブ
会員増強事業主査	金丸満雄	東京ひがしクラブ
国際・交流事業主査	立田佳明	東京江東クラブ
ユース事業主査	石丸隆章	千葉クラブ
メネット事業主査	鈴木久子	東京ひがしクラブ

### 各クラブ役員名 (敬称略)

クラブ名	会 長
東京江東クラブ	山崎常久
千葉クラブ	大場正幸
東京グリーンクラブ	浅見クミ子
柏クラブ	染谷正夫
埼玉クラブ	衣笠輝夫
東京北クラブ	井口保雄
所沢クラブ	林秀雄
東京ひがしクラブ	飯田歳樹
川越クラブ	利根川恵子
茨城クラブ	小嶋正美

## 生きる喜びを共有しましょう

東新部部長

堀井 堯 (東京南クラブ)



「また部長をやるのですか？」と数人の方々から聞かれました。実は2002～2003年度、東新部部長の常藤ワイズが入院し、任期後半も終わりに近いころ、私は部長代行として数ヶ月間任期を務めました。

当時書記を担当していましたが、皆様のご協力でなんとか部長代行の責任をはたすことができました。

今回はワイズの状況も変わり、皆さんの一層のお支えをお願いしたいと思います。

いま私たちの周囲をみますと各種の物価高や所得格差が拡がり、近隣諸国では多くの災害や食糧難によって困難な生活を余儀なくされている人々が増えている現実があります。

このような時代のなかで私たちワイズメンがワイズメンズ運動を社会的・国際的に力を注ぐことの意義は逆に大きいものがあります。特に私たちにYMC&Aと共にさまざまな活動が可能で、それをメンバーが価値観を共有しつつクラブの活性化、強化へと繋げていきたいと考えます。

幼い子ども達から青少年、そして高齢者まで人々と共に生きる喜びを分かち合い共有できるワイズメンになろうではありませんか。

今年度、清水理事は「前へ、明日へ、世界へ」を理事主題とし、東日本区チャレンジ2000のプロジェクトを掲げメンバー増強を目指しています。この目標に向かい東新部9クラブも共に実現のため協力したいと思います。

すでに新クラブ誕生へと準備を開始したクラブもあり、複数の新クラブ設立の期待が部内でも高まっています。同時に既存の9クラブのメンバー増強にも力を注ぐことをも忘れてはならないでしょう。折角新クラブが誕生しても全体でメンバーが増えなければ目標は失われてしまいます。それにはクラブ内だけでなく、他クラブと連携して新しい人々を発掘し、相互に紹介し合う試みも必要でしょう。

さらに「Yとワイズが手を繋ぎ」と東新部の歌にあるようにYMC&Aとワイズと一緒にこの困難な時代を喜びに変えていく原動力になりたいと考えています。

## 2008～2009 年度の部長として

あずさ部部長

宮内友弥（東京武蔵野多摩クラブ）



いよいよ新年度のスタートです。11クラブを擁するあずさ部の部長として歴代部長をはじめとする諸先輩方、事業主査の皆様、クラブ会長の皆様のご

支援のもとにこの1年間全力を尽くす所存です。

本年度の部長主題を「おおいに語ろう、夢を持って」- 東日本区2000への挑戦に向かって - といたしました。

あずさ部は、1997年会員数209人でスタートしましたが、今年12年目を向かえ会員数226人でこのところ2006年233人をピークに低位安定の状況にあります。本年度は「東日本区2000プロジェクト」スタートの年であり、かつ「2010年横浜国際大会」を間近に控え会員全員が一丸となって目標に取り組む重要な1年であると位置づけています。

そこで、ワイズメンズクラブの目的・理念を初心に戻って考え、「ワイズとは何か、今後どうあるべきか」をおおいに語り合い、各々がワイズマンとしての誇りを育み、もって「会員の増強、組織の拡大」につなげて行きたいと思っています。具体的には、会員増強については入会者の増加と退会者の防止に注力し各クラブ現会員数の20%増、新クラブについては部として1クラブ設立を本年度の目標とします。

この目標に向かって実りある1年となり明日のワイズの発展につなげていけるよう頑張りたいと思いますので宜しくお願いいたします。

## 力を集めて広げようワイズの輪

湘南・沖縄部部長

里吉時夫（横浜ノースクラブ）



かつて、1999年～2000年度第3代部長をお引受したことがあり、今回2度目になります。2010年横浜国際大会を控え、この1年、皆様のご協力をいただきながら大会の成功に向け力を結集し、新しい仲間を積極的に迎え入れお互いが交わりを

深めることで理事主題・方針の実現につながるものと確信しております。初心に帰って頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

今、会員数15名未達のクラブの解消は急務です。前期浦出部長の時には厚木クラブが見事にクリアされましたが、残る未達成クラブにつきましても更なる注力をしてまいります。また、部2000プロジェクト委員会を軸に会員増強3カ年計画の初年度目標を積極的なチャレンジ精神をもって確実に実行しながら、藤沢・横須賀・川崎をターゲットとする新クラブの設立を部として積極的に後押しをする考えであります。

さて、明2009年に125周年を迎える横浜YMCAには、新公益法人制度への対応とあいまって“うたごえ広場”や“発達障害児のためのパン工房”など各ブランチプログラムへの積極的なサポートと富士山YMCAを含む地域支援の協働体制の推進やYMCAスタッフとの更なる交流・相互理解の深化を図るため、最初の開催から10年を超え40回を重ねているY-Y's協議会の一層の充実・活性化を図ります。また、沖縄2クラブから総主事を始め多くの理事・常議員らの役員を送り込んでいる沖縄YMCAに対しては、クラブを通じ実行可能な協働プログラムの強化・支援を推進したいと思います。

全国に先駆け国際認証第1号となった横浜Y-3とは一層連携を強化し、若者でなければ持ち合わせないスキルを見極め・相携え、ユースプログラムの実施と協働体制の充実を図りたいと思います。

9月27日の部会、年3回の評議会、そして1月8日の合同新年会は、楽しく実りあるイベントとして一生懸命に努めさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

## 就任の挨拶と富士山部部長方針

富士山部部長

田辺寛司（伊東クラブ）

賞味期限1年間、富士山部部長として部内11クラブの皆様と共に活動して行きたいと考えています。私はクラブ入会28年目となりますが、多くの先輩達からYMCA、地域奉仕のあり方を学ばせて頂



きました。永い間、世のため、人のため、ワイズ活動をしていると誇りを感じつつ、仕事よりワイズ優先で頑張ってきました。ところがここ数年、自己意識が少しずつ変わって来ている事に気付きはじめました。それは、果たして他人のためにワイズ活動をしているのだろうか？よく考えてみるとワイズメンズクラブという団体の名の下で自己研鑽、自己啓発のあり方を学ばせて貰ってきたのではないかと思いはじめました。このように意識を変えると、自分の能力以上の役職を与えられても何とか職責を全うしようとファイトが沸いてくる気がします。さて部長としての方針を述べさせていただきます。富士山部が東日本区他6部と違う点は担当主事がいないことです。各クラブが地域奉仕事業、青少年育成事業を展開する上で、所属するレイパーソンの熱海YMCAに頼らず、自らの地域の実情、要請にみあう事業を模索検討し独自の活動をしている事です。しかし、私達富士山部にもグッドスタンディングに達せず苦勞しているクラブ、会員の減少、高齢化で今まで実施していた事業をあきらめたクラブ。いろいろ問題点を抱えているのが現状です。たまたま今期から、東日本区2000プロジェクトが始まります。部長として東日本区の為に頑張ろうとは考えず、部内11クラブの皆様には、自クラブが他クラブには負けないと胸を張れる事業展開が出来るよう会員増強に心掛けていただき、こんな楽しい会に入らないと損するよと友人を勧誘できる雰囲気作りをして頂きたいと考えています。人はそれぞれ他人には負けない何かを身につけています。自分らしさ、自分の個性をワイズ活動の場で発揮して自己研鑽、自己啓発に心掛けて頂きたいと思っています。

Brush up your character!

## “生きたガイドライン作りに邁進”

文献委員会委員長

上谷喜謙（東京グリーンクラブ）

前年度に引き続き、文献委員会委員長を務めることになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

文献委員会は、東日本区の運営に支障を来さないため、更にはワイズダム発展のため



に、適正、且つ効果的に運用出来るような、具体的な指針作りが必要であり、それを遂行することが与えられた任務であると心得ております。そのためにも委員の皆様の実知を結集し、精一杯努力いたします。

今期はお三人の委員が退任され、四人の方に新しく委員に加わって頂き、新陣容で会員各位のご要望等も十分に取り入れながら、一層充実した「生きたガイドライン」作りに邁進する所存であります。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

## “新しいぶどう酒は、新しい革袋に・・・” のLT研修をめざして

LT委員長

駒田 勝彦（甲府21クラブ）

今期も新たなリーダーの皆さんに期待されている、期待することをご一緒に学びたいと思います。委員長として責任の重さと、緊張を感じています。しかし素晴らしいLT委員の方々がおられますので、理事スタッフと共に新



しくリーダーになられる方々へY'Sの新しさを求めるお力添えが出来る研修会であるよう頑張りたいと思っています。

皆様のご指導、ご協力を宜しく御願い申し上げます。

- 2008 - 2009年LT研修会実施予定  
「次期事業主任・次期部長研修会」・・・月日  
2008年10月25日（土）  
「次期会長・次期役員研修会」・・・月日  
2009年3月28日（土） 29日（日）  
次期のリーダーとなられる方々が全員集合する研修会とします。
- 部・クラブ単位の研修サポート  
部・クラブが主催する新入会員へのセミナー、クラブ運営セミナー等にご協力いたします。

## 身の丈にあった組織を

組織検討委員会委員長

小山正直（東京まちだクラブ）



東日本区も12期を迎え、ワイズメンズクラブの形態にも変化が起きている。即ち、女性だけのクラブやユースクラブY-3が誕生し、組織形態の幅が広がっている。或は、

現在はクラブの対応に委ねている高齢会員の会費減免措置の問題、配偶者没後のメネットの処遇の問題等々もこの間に検討した問題である。今後、2000プロジェクトの進展で各部に新クラブが増えれば部の編成についても検討すべき時が来るであろう。クラブ、部が増えれば、直結している現在の東日本区事務所の業務態様も検討しなくてはならないこともあろう。検討すべき問題を予測することはできないが、クラブや部から提起され、区役員会の協議を経て諮問される組織問題については、時宜を問わず検討し、適切な答申案を纏めるように委員諸氏と共に務めてゆきたい。

### 東日本区ワイズ基金（JEF）運営委員会

運営委員長

加藤利榮（横浜とつかクラブ）



#### 1 基金の現況

前期繰越	30,650,913 円
今期実績	1,383,000 円
計)	32,033,913 円

#### 2 運営委員会

JEFは規定に基づき運営しており、今期委員は、清水理事と菊地区会計が職責委員に、常置委員は、鈴木健次（東京ひがし）、山田利三郎（東京西）、加藤利榮（横浜とつか）、原昭三（伊東）が就任し、山田敏明（十勝）、本多啓夫（宇都宮）、佐野守（東京グリーン）、中村鐵五郎（東京）、尾内昌吉（東京山手）、遠藤喜七（横浜）、西島智仁（熱海）の7氏がJEF特別推進委員に就任されました。

#### 3 明日のために！

JEFは、区唯一の資産であると同時に区財務基盤の安定化には欠かせません。2010年横浜国際大会を目前に控え、ご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 「ワイズの常識」の再確認

ヒストリアン

吉田 明弘（東京西クラブ）



2008 2009年度は、「2000プロジェクト」の推進が大きな課題です。

現状の1,100人を2,000人にするということは、メンバー数11人のクラブが20人になるということです。もちろん現メンバーが頑張るわけですが、これから新しく入会する人が、その人脈を生かしワイズを吹聴することをなくしては実現できません。

量の変化は質の変化をもたらします（悪くなるという意味ではありませんし、恐れているわけでもありません）。

「ワイズの常識」や「ルール」、「マナー」をもう一度、見直し構築する必要があり、区理事・区役員を支える区委員は、そのことを強く意識することが求められると自覚しています。

## 08 - 09年のご挨拶

トラベルコーディネーター

久保田貞視（東京八王子クラブ）



B F代表は国際協会に集められた基金の補助を受け、他の地域のクラブ訪問、国際大会、地域大会、区大会に参加し、訪問先で得られた知見をクラブ・部・区内で積極的にシェアし、ワイズ運動のよきリーダーになることが義務付けられています。東西日本区はB F全体の2割強を抛出、国際への貢献度は高い。今期は世界で21名のB F代表のうち、東日本区来訪のB F代表は、フィンランド、カタジャイセット・クラブのヴェイコ・ジュハニ・ジュボネン氏が息子さんと来日し、東西日本区のクラブ例会及び各区大会に出席する予定です。TCの役割は区内独自の日程を作成することで、区内の各部・各クラブのご協力が是非とも必要となります。ワイズの仲間として親身になってよろしくアテンド方お願いいたします。

## “チャレンジ2000”

東日本区2000プロジェクト委員会委員長 漆 畑 義 彦 (富士クラブ)



会員の多数が高齢化を憂い会員増強と若返りを強く望んでいる。このことから、2010年の横浜国際大会をチャンスととらえて各クラブの強化を強力に進める必要があります。

東日本区全てのクラブの会員数が15名以上で65クラブの平均人数が25名以上になることが健全なクラブ活動の元です。愛と奉仕の実践を目的とし、小さな事から大きな事まで幅広い活動をする私達ですが一定以上の規模でなければその力は発揮できません。人数は少なくとも素晴らしい活動をしているクラブを私は知っています。しかし会員増強と若返りに努力しなければ衰退するだけであることを誰もが知っています。

ぬるま湯の中で甘えていては“だめ”です。さあ前に進みましょう。自分のために、そしてクラブのために。強力なクラブガ部と区で協調を図り各組織と協力することにより目的の実践が出来ることでしょう。

東日本区2000プロジェクト委員会は強力なクラブの支えと情熱によって新しいクラブを作ることを目的に組織されました。

今までのEMC活動にましてその事業展開を強力に推進するため部2000プロジェクト委員長を中心に組織されました。

正式名称は

区は東日本区2000プロジェクト委員会

部は 部2000プロジェクト委員会

委員会は次の3つの目的を掲げて活動します。

- (1) クラブの若返りと強化をベースに部と区の再生と更なる発展を計る。
- (2) 2010年横浜国際大会を成功させる。
- (3) クラブと部そして区の健全な財政基盤を確立すること。

新クラブ設立の中心は部委員長です。

(任期は3年)

北海道部	玉池俊隆	委員長
北東部	山口俊一	委員長
関東東部	香取良和	委員長
東新部	伊藤幾夫	委員長
あずさ部	真野範一	委員長
湘南・沖縄部	峯尾 舜	委員長
富士山部	勝又隆吉	委員長

区の委員会は上記の部委員長を強力に応援するために全力を尽くします。要請される際には理事、委員長を始め理事経験委員、主任経験委員を派遣します。

現状については、14 現在15名以下のクラブは65クラブ中31クラブあります。

最小クラブは4人、最高クラブは44名であり全クラブ平均は17名です。上記の31クラブが15名以上になれば平均が19名となります。さらに努力をして平均を25名にしましょう。

部2000プロジェクト委員会が計画する新クラブ設立を各部年1クラブとすれば7部3年で21クラブ(目標クラブ/20名)となる予算について

区委員会開催	年3回	3年10万	900,000
設立作戦会議	7クラブ×2×2	万×3年	840,000
設立奨励金	7クラブ×15万	×3年	3,150,000
マグネットタイル製作			500,000
雑費			110,000
合計			5,500,000

活動を強力に進めるには資金が必要です。区役員会で上記の予算をつけて頂きました。大切な資金を無駄なく活用し事業を強力に展開しましょう。

前へ、明日へ、世界へは清水理事の主題です

2010年横浜国際大会を良い機会ととらえて東日本区を2000名にしさらに5年後10、20年後にむけて多いに夢を膨らませましょう。

目的を達成するために、一人ひとりの力と情熱と協力をお願い致します。

## ITをもう少し役立てることは

ITアドバイザー

十河 弘（宇都宮クラブ）



ITアドバイザーとして7年目です。7年前はようやくITが一般的になってきた頃でしたが、今では普通に利用されるようになっています。6月に新年度のメー

リングリスト（ML）を作り、ホームページを維持してきました。理事通信がMLで配信され、ホームページにも事業主任方針を掲載し、資料はインターネットで迅速に伝えることができます。しかし、これらがワイズダムの発展にどれだけ貢献したかを考えると、自信をもって「貢献しています」と答えられないのが現状です。でも、インターネット関係は、通信に関してはすぐれたツールです。これを何とかもっと生かしたいと思っています。ワイズメンの皆様はどのように考えておられるでしょうか。

そろそろ、次の人へバトンタッチする時期、何が答えを見いだしたいと思っています。

## 東日本区全メンバーへの奉仕者

書記

十河 弘（宇都宮クラブ）

清水理事の下で書記を務めさせていただきま  
す。書記の英語は Secretary、Y's はアメリカ育ちな  
ので、英語ありきとすると Secretary を書記と  
したところに無理がある。YMCA の Secretary は  
主事と呼んでいる。こう考えて、理事をサポート  
しながら、事業主任、部長からクラブ会長そして  
東日本区の皆様の働きが円滑に進むように、東日  
本区全メンバーへの奉仕者として働きます。

私はクラブの書記を2回、部の書記を2回、区  
は2回ということはないので、最後の奉仕、最大  
限の努力をいたします。

そして、ITアドバイザーも兼務いたしますの  
で、インターネットも生かします。いままでパス  
ワードが必要であった Member's Pages は、今年  
はパスワードなしで閲覧できるようにします。こ  
れは、掲載内容に責任を持てる立場を兼務でき  
るためです。適時の報告・予告を行い、部・クラブ  
で活用できる内容も含めたものにします。

## 会計を務めるにあたり

会計

菊地弘生（仙台青葉城クラブ）



今期、東日本区の「会計」を任  
されました菊地弘生（仙台青葉  
城）と申します。2008年から「区  
2000P」、「部2000P」が、一斉に  
スタートします。この運動が、区

の財政にどのような影響を及ぼすかを検証して  
いければと思っています。そこで、7部から上が  
ってきた計画に基づいて、一定（仮）の目標値を  
置き、その後の成果とのギャップについて検討を  
加えつつ、更なる成果が期待できるような、計数  
管理資料を作成・提供して参りたいと考えており  
ます。

会員増強活動を続ける上で、微力でも皆々様の  
励みとなるように心がけたいと思います。

2008年が、「実り多き一年」となるよう頑張りま  
すので、ご意見・ご指導の程、よろしく願いい  
たします。

## 事務局長に就任して

理事事務局長

竹内 聡（東京ひがしクラブ）



事務局の役割はクラブ会長、  
部長および事業主任への諸情報  
提供、諸報告書の提出依頼、並  
び連絡、集計をこまめに行うこ  
とと指導を受けました。区の行  
事・報告がクラブの活動に必要

な情報であることを知り、事務局が期日までに資  
料を全員に送付する義務を目標に頑張ります。清  
水理事の仙台青葉城クラブは私が入会したクラ  
ブです。その後、東京ひがしクラブに転入して6  
月に東日本区大会をホストしました。鈴木区事務  
所所長は同じクラブです。交わりが深すぎて、本  
当に大切な役割を果せるのか心配です。でも、与  
えられた役割を果していく喜びを皆さんと一緒に  
関わっていくことが出来るように、これからの一  
年宜しく願います。



## 東日本区事務所の役割

東日本区事務所 所長・鈴木健次（写真：左）  
（東京ひがしクラブ）

東日本区事務所 副所長・林 茂博（写真：右）  
（横浜つづきクラブ）



東日本区事務所の役割は東日本区全体が円滑に運営されるように、理事及び理事スタッフの働きを側面から支えることにあります。従ってその働きは多岐にわたっています。

日常業務では理事、書記、会計の補佐が中心になりますが、研修会のシーズンには担当委員会の補佐、年度末になれば各事業主任の纏め作業の補佐の仕事が中心になります。

現在区事務所は鈴木（水曜と金曜）と林（火曜と木曜）の2名が、一週間の4日間を交互に出勤をしており、月曜は閉所となっています。鈴木が主に国内の各クラブに関わることを中心に、林が国際関連の仕事をしております。勿論それぞれの担当に拘らず東日本区全体の為に役立てるよう、心がけております。

交通至便ということで、日本YMCA同盟の会議室をお借りしての委員会開催が多くなっています。どうぞ皆様も四谷の事務所を是非一度お訪ね下さい。しかし、最近は皆様から送られてくるブルトップや10年史の在庫が山と積まれており、事務所が倉庫と化していますので驚かないでください。

交通至便ということで、日本YMCA同盟の会議室をお借りしての委員会開催が多くなっています。どうぞ皆様も四谷の事務所を是非一度お訪ね下さい。しかし、最近は皆様から送られてくるブルトップや10年史の在庫が山と積まれており、事務所が倉庫と化していますので驚かないでください。



東日本区事務所入り口

## 東日本区連絡主事として

東日本区連絡主事

山添 訓（横浜クラブ）



YMCAは、それぞれの地域に必要とされる存在として、長い歴史の中で運動や、事業の展開を行ってきました。地域に根ざすワイズメンズクラブが YMCA と共に汗してく

ださるその活動は、『地域にあるYMCA』を高める効果がとてもあります。同じ志を YMCA の使命に持ち、ともに活動するワイズメンズクラブとの協働はこれからますます必要とされると思います。

私は皆様との関わりの中で、持てる賜物をささげ、人との出会いを大切にしていきたいと思っております。会議や研修会などは、貴重な学びの場とさせていただいています。今年度も多くの方々との出会いを大切に人生の糧としたいと思っております。

また、ワイズメンズクラブとYMCAを結ぶ東日本区連絡主事として2年目になります。国際大会に向けての大切な準備と日常の活動において、両活動の潤滑油の役割を果たし、お互いの理解を促進して、共に手を携え歩むお手伝いをしてまいります。今年度もどうぞよろしくお願いたします。



## 2008-2009 年度 東日本区会計予算

### 収入の部

科目	(前提会員数)			予算増減	予算・実績増減
	1111 名	1100 名	1150-1300 名		
科目	06-07 実績	07-08 予算	08-09 予算		
東日本区費	16,341,600	15,983,000	17,858,000	1,875,000	1,516,400
ロースター・名簿代	1,913,700	2,000,000	2,320,000	320,000	406,300
入会金	498,000	600,000	1,800,000	1,200,000	1,302,000
物品売上	137,000		130,000	130,000	-7,000
加盟金	10,000	20,000	30,000	10,000	20,000
ワイルドワールド補助金	112,570	90,000	100,000	10,000	-12,570
雑収入	32,841		30,000	30,000	-2,841
前期繰越金	-439,362	244,953		-244,953	439,362
合計	18,606,349	18,937,953	22,268,000	3,330,047	3,661,651

### 支出の部

科目	06-07 実績	07-08 予算	08-09 予算	増減	予算・実績増減
国際会費	3,610,596	3,850,000	4,025,000	175,000	414,404
アジア会費	538,321	528,000	552,000	24,000	13,679
アジア地域災害緊急支援金	133,331	132,000	138,000	6,000	128,047
加盟金	9,953	20,000	30,000	10,000	-103,331
東日本大会負担金	555,500	550,000	575,000	25,000	19,500
東日本区・事務所費	3,456,000	3,480,000	3,456,000	-24,000	0
会議費	115,050	130,000	120,000	-10,000	4,950
旅費・交通費	1,634,140	1,800,000	2,500,000	700,000	865,860
区・事業費	1,495,965	1,280,000	1,500,000	220,000	4,035
部・事業費	1,033,300	1,030,000	1,090,000	60,000	56,700
事務通信費	533,689	600,000	530,000	-70,000	-3,689
宣伝印刷費	1,633,799	1,750,000	1,830,000	80,000	196,201
ロースター・名簿代	1,816,720	1,800,000	2,080,000	280,000	263,280
事務用品費	126,791	120,000	130,000	10,000	3,209
物品費	636,135	400,000	640,000	240,000	3,865
拡張奨励金	102,900	200,000	300,000	100,000	197,100
雑費	29,206	20,000	30,000	10,000	794
理事費	160,000	160,000	160,000	0	0
書記・会計費	80,000	80,000	80,000	0	0
事業主任費	160,000	160,000	160,000	0	0
部長費	280,000	280,000	280,000	0	0
委員長費	160,000	160,000	160,000	0	0
監事費	40,000	40,000	40,000	0	0
事務局費	20,000	50,000	20,000	-30,000	0
予備費		73,000	1,842,000	1,769,000	1,842,000
次期繰越金	244,953	244,953		-244,953	-244,953
合計	18,606,349	18,937,953	22,268,000	3,330,047	3,661,651

08-09 年の予算について： 7 月半年報の会員数確定前ですので、7 月 1 日会員数を 1,150 人、下期には 1,300 人増加するとの推定です。 会員増加の結果の収入増に伴う支出の部は予備費の中に計上してあります。 会員数の動きに伴って、年度途中で予算を補正する予定です。

## 第12回東日本区大会 - 十勝大会の概要

### ご挨拶

緑溢れる十勝で第12回東日本区大会を開催します。十勝の6月は、清々しい初夏の香りの中、スズランが咲き乱れ、アスパラガスがおいしく、十勝の大地が皆さんをお待ちしています。すばらしいロケーションの中、バラエティに富んだプログラムを企画中です。是非、2009年6月13,14日は、草原に友を求めて、今から計画して下さい。ココロも、お腹も、思い出も、満タンになります。



第12回東日本区大会実行委員長

山田敏明（とかちクラブ）

実行委員会 小委員会委員長 同副委員長

委員長 山田敏明

副委員長・事務局 渡辺喜代美

事務局 山本雅之 越智秀彦 大谷佳世

総務 池田正勝 中村義春

登録 大和田二郎 大竹由子

プログラム 増中文明 赤松明彦 畠山尚史

広報 山下真 玉池俊隆

キャラバン 玉池俊隆 赤松明彦

開催日時 2009年6月13日（土）～14日（日）

13日11時～12時 代議員会

13時～大会 そして懇親会

14日はオプションツアー（14日夕方帰りと14日宿泊15日帰りのグループ）

第4回役員会 2009年6月12日（金）午後3時

12日は朝からゴルフも 夕方は前夜祭

大会会場 とかちプラザ

懇親会会場 ホテル日航ノースランド帯広

宿泊場所 ホテル日航ノースランド帯広

記念講演 宮嶋 望氏

（農業生産法人 共働学舎新得農場代表）

記念講演講師のプロフィール

宮嶋さんのお父さんが長野県小谷村で「心を閉ざした人も自然や動物に触れて心を開くかもしれない」と設立した共働学舎に賛同して、障害や心の悩みがあってもいい、一緒に生活しようと1978年に北海道新得町に共働学舎の支舎を開設。牛乳では生活できないので、良い牛乳で作ったチーズ。このチーズがプラハで世界最高峰のモンド・セレクションの金賞を受賞・・・

来年は北海道だよ！  
今、北からはじまる新・ワイズダム  
草原に友を求めて

今から北海道への準備を！



会場・ホテルは帯広駅南側に隣接



とかちプラザ



ホテル・日航ノースランド帯広

## 2010年横浜国際大会

2010年横浜国際大会準備委員長 藤井寛敏（東京江東クラブ）



2010年横浜国際大会まであと2年余りとなりました。世界のワイズからの期待に応え、最高の国際大会にしたいと思っております。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年8月にオーストラリア・アデレードで開催された国際議会にて2010年の国際大会の開催地を横浜とすることが決定されたのち、東・西日本区からなる「2010年横浜国際大会準備委員会」が組織され、検討、準備を進めています。

以下、改めて大会の概要およびこれまでに準備委員会で決定した事項ご案内いたします。

## 1. 大会の概要

- 日程：2010年8月5日（木）～8日（日）
- 会場：パシフィコ横浜
- 宿泊：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルほか
- 登録費：55,000円（早期登録：50,000円）
- スポンサー：東日本区
- サブスポンサー：西日本区
- ホスト：東日本区全7部
- 国際ユースコンボケーション：国際大会と並行して、8月2日～8日の間、東山荘および富士山YMCAにて開催予定

## 2. 大会テーマ

- 英文  
“From Our Hands, We Pass Nature’s Torch”
- 和文  
「『いのち』未来への継承  
-私たちの地球のために-」

## 3. 大会シンボルマーク



公募の結果、左記を大会のシンボルマークに決定しました。今後、パンフレット、ポスター、名刺、大会ウェブサイト、ユニフォームほか各種グッズに用い、大会のアピールと盛り上げに活用していきます。デザインは、日詰一彦ワイズ（東京センテニアル）

## 4. 準備委員会構成

- 【名誉委員長】竹内敏朗（熱海グローリー）
- 【委員長】藤井寛敏（東京江東）
- 【副委員長】清水弘一（仙台青葉城）、高田一彦（横浜）、吉本貞一郎（熊本）
- 【委員】
  - 【東日本区】浅見隆夫（東京グリーン）、越智京子（東京たんぼぼ）、小原武夫（東京世田谷）、櫻井浩行（東京むかで）、鈴木健次（東京ひがし）、須部浩右（横浜）、西村隆夫（東京センテニアル）、原俊彦（東京サンライズ）、林茂博（横浜つづき）、藤井祥子（東京江東・メネット）
  - 【西日本区】神谷尚孝（和歌山）、佐藤典子（熊本ジェーンズ）、佐野文彦（四日市）、柴田善朗（京都さくら）、鈴木誠也（神戸ポート）、森田恵三（京都ウエスト）、森本榮三（大阪高槻）
  - 【YMCA 同盟】山添訓（横浜）
  - 【事務局長】田中博之（東京）

## 5. 実働委員会

以下の実働委員会を設置し、それぞれの分野での詳細な検討、準備作業を行っています。自薦、他薦を問わず実働委員会へのご参加をよろしくお願い申し上げます。

総務、広報、プログラム、会場、ファンド、ユースプログラム、登録推進、登録・宿泊、交通、マーシャル、メネットプログラム

日本のワイズは1975年の熱海大会、1988年の京都大会と、過去2回の国際大会の開催を機に大きく発展して参りました。東日本区2000プロジェクトとも連携し、国際大会開催の準備、運営を通じて、日本のワイズが活性化されることを願っております。



第 1 1 回東日本区大会での理事就任と受け継ぎ 2008 年 6 月 8 日



竹内敏朗元国際会長司式での東日本区理事就任宣誓で清水弘一理事誕生の瞬間



越智京子 07-08 東日本区理事より  
清水弘一 08-09 東日本区理事へ  
理事バッジの受け継ぎ



越智京子理事と清水弘一理事  
受け継ぎの握手

写真は東京グリーンクラブ  
布上征一郎ワイズ提供



# Note & News

国際会長 “Be the Light of Hope”  
 アジア会長 “Be the Light of Hope”  
 東日本区理事 “Step Forward: For the Future, into the World”

2008.8.1 発行 第1号 通巻34号

## メネット事業方針

メネット委員長松本倫子  
 (東京クラブメネット)



ーメネットとして長年楽しく過してきました私の所に、委員長という大役が廻ってまいりました。微力ながら一年間奉仕させて戴きますので、メネットの皆様は勿論メンの方々にもご協力をお願いしたいと存じます。私は主題を「ささやかなるしづくすら」としました。これは讚美歌463番、児童の項にあります。全メネットが力を合わせて国際大会を盛り上げ、又クラブにあってはメンの活動を理解し、協力し、そしてささやかなるしづくも流れ行けば海となるという言葉を実行出来る様に努力いたします。

国際プロジェクト：国際メネット事業主任からの提示を検討し、実施したいと思います。

国内プロジェクト：昨年度に引き続き「絵本を贈る運動」に協力したいと考えています。YMCA 関連の幼稚園・保育園の子供達の良き糧となりますよう祈ります。

2010 国際大会：メネットプログラム準備への参画と協力をしなければなりません。藤井祥子委員長の指示を受けて皆様と共に準備致しましょう。

2000 プロジェクト：時代が変わりメネットの人数も減少しています。清水理事が掲げるプロジェクトに依りメン・メネットの増員を期待して、推進に協力したいと思います。

東日本区メネットの集い：秋には皆様との集いの場を持ちたいと思っています。内容・日程等が決まりましたらお知らせしますので、是非ご出席ください。

2008 ~ 2009 年度「東日本区メネット委員会」

- 委員長 松本倫子 (東京)
- 書記 真野みつ子(東京八王子)あずさ部主査
- 会計 鈴木久子 (東京ひがし)関東東部主査
- 委員 義村小夜子(札幌北)北海道部主査
- 田村成子 (仙台)北東部主査
- 須藤玲子 (東京南)東新部主査
- 長島淑恵 (横浜ノース)湘南沖縄部主査
- 村杉一榮 (東京北)直前委員長
- 会計監査 福島多恵子 (東京目黒)元委員長

## 北海道部メネット事業主査

義村小夜子 (札幌北クラブメネット)



今回で何度目の部の主査でしょう。北海道部は十勝と札幌北クラブの2クラブです。しかし、どのクラブもメンの助けてとしてメネットは頑張っています。

今年度は第12回東日本区大会を十勝クラブが受け持ちます。初夏の北国の自然が皆様をお待ちしています。

本年度メネット主査の主題「ささやかなるしづくすら」に沿って小さな力を集め、東日本区の大勢のメネットの交流の場となるよう願っています。

## 北東部メネット事業主査

田村成子 (仙台クラブメネット)



メネット事業主査をお引き受けしてから、さっそく次期部役員研修会への案内がとどきましたが、仙台から近くて(時間)遠い(距離)ため、会への出席が出来ず申し訳なく思い、事業

主査をお引き受けしました事に対して、不安と気

の重さを感じておりましたところ、メネット委員長さんより「無理なく協力していただければ良いのです」と暖かい言葉に安心して、微力ながら少しでもお役に立てられる様前向きに考え、色々勉強させていただき気持ちになり、この一年間頑張っていると思っています。メネット歴だけは長いのですが、クラブのメン、メネットの後をただ付いてきた私です。行き届かぬ点が多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 関東東部メネット主査として

鈴木久子（東京ひがしクラブメネット）



以前私が関東東部メネット主査をお受けしたときには東京江東、千葉、東京グリーン、柏、埼玉、東京北、東京ひがしと各クラブにメネット会が組織されていましたが、現在は東京にある4ク

ラブと少なくなっていました。しかし、部会で集まるほかに、毎年2月頃に開催されている「関東東部メネットの集い」は今も健在です。各クラブでの集まりは難しくなっていますが、このような全体での集まりを大切に、メネット同士の交流と親睦を深めてゆきたいと思います。今期はメネット委員会の会計もお引き受けすることになりました。皆様のお支えをお願い致します。

### メネット事業主査をお引き受けして

須藤玲子（東京南クラブメネット）



ワイズメンズクラブに夫が入会して6年目になりますが、未だに組織のこと、いろいろな略語を理解していない状態で、東信部のメネット事業主査をお引き受けしてしまいました。松本

倫子メネット委員長のもと、「ささやかなる雫」ではありますが、この1年少しでもお役にたてたら！と願っております。10月4日（土）には東信部の大会があり、午前中にはメネット会のイベント（メンも大歓迎）も計画しております。素敵な会になるよう、これから準備していく予定です。

### 「どうぞよろしくお願いいたします」

あずさ部メネット事業主査

真野みつ子（東京八王子クラブメネット）



あずさ部は11クラブで構成されていますが、メネット会として活動しているのは、甲府・甲府21と東京八王子の3クラブです。ですからメネット事業主査のお役は3年毎に

回ってきます。今年度は八王子の番となり、私に順番が回って参りました。

今期は国際大会前年度にあたり準備の年ということで、松本委員長はとても多忙になるのではと想像されます。私は微力ですが、1年間書記として委員長のお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 湘南・沖縄部メネット事業主査

長島淑恵（横浜ノースクラブメネット）



はじめまして。この度、湘南・沖縄部よりメネット事業主査を1年間務める長島淑恵です。

私の部は、横浜、戸塚と横浜ノースの3つのメネットクラブより代表1名が選出され、今回は横浜ノースよりの参加です。

「事業主査」の仕事の内容等を理解し、これを機に、皆様方のお力を借り、お役に立てるよう努力いたしますので、ご協力よろしくお願いいたします。



2008～2009東日本区行事予定

年	月	強調月間	東日本区行事・報告・送金	各部・西日本区	国際・YMCA
2008	7	キックオフ YMCA サービス ASF	10 半年報：クラブ 部長 12-13 第1回東日本区役員会 15 半年報：部長 東日本区書記へ 31 まで後期区費請求書発送	(部評議会)	27-30 ICM 29～8/3 IYC 31～国際大会
	8	CS	31 前期区費納期	30(土)北海道部部会	～8/3 国際大会於デンマーク
	9	ユース	26-28 ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)	6(土)北東部部会 7(日)富士山部部会 13(土)関東東部部会 15(祝)あずさ部部会 27(土)湘南・沖縄部部会	国際議員推薦 国際会長候補者推薦
	10	EMC-E	25(土)次期部長次期事業主任研修会	4(土)東新部部会	国際半年報
	11	ワイズ理解 ファミリー・ファスト	8-9 第2回東日本区役員会(於仙台) 10 ワイズデー	(部評議会)	国際投票を各クラブへ
	12	EMC-MC	8 祈りの輪		国際役員投票
2009	1	IBC/DBC	10 半年報：クラブ 部長 15 半年報：部長 東日本区書記へ 31 まで後期区費請求書発送	湘南・沖縄部合同新年会 在京クラブ新年会	15 国際投票スイス着
	2	TOF	28 後期区費納期		
	3	BF メネット	15CS,ASF,TOF,BF 現金・切手納期 21 までに代議員会公告 28～29次期会長・次期部役員研修会	(次期部研修会)	
	4	LT	11-12 現・次期合同役員会 18 13:30 東西理事連絡会(於関西)	(次期部研修会) (部評議会)	国際半年報
	5	EF/JEF	15EF,JEF エントリー締切 16 までに代議員会議案書、招集状発送		
	6	評価	6-7 西日本区大会(熊本)  12 東日本区役員会 13 代議員会 13-14 第12回東日本区十勝大会		